

- 二、天野争議解決
- 三、龜戸第四支部發會式
- 四、本所第一支部解雇問題
- 五、大森第三支部争議解決
- 六、會計報告
- 七、關東同盟執行委員會及中央委員會報告
- 八、日本労働會館改築着手報告

協 議 事 項

- 一、佐藤製作所争議對策
- 二、大和サツシュ工場争議對策
- 三、向島帝國發條争議對策
- 四、本所田中商會争議對策
- 五、龜戸第四支部待遇改善要求提出と其對策
- 六、川口支部増啓争議
- 七、組合員調査カード作製
- 八、森山、林兩氏下獄送別の件

以上可決

第八回理事

昭和六年九月二日於本部

- 一、日本備前争議勝利解決報告
- 二、川口地産工場労働争議解決報告
- 三、大島東京鋼材解雇問題解決報告
- 四、接折林仲銘所紛議報告

組 織 部 報 告

我等の活動の全部が組織擴充の精神に基き爲されて居る事は今更言ふまでもない。本年度は深刻なる不況に際してより一層積極的に組織擴大をはかるべく昨年十月十八日組織部員會を開催した。本會合に於て本部及び支部の積極的活動を爲すべく決定して組織宣傳用ポスターを十萬枚印刷に附して各支部と共力して之を貼付した。斯る積極的活動にして本年度に新設されたるもの十三ヶ支部、七ヶ分會にして昨年度に比して多き事五支部七分會である。而し之等の工場會社の多くは中小工場であり組織當時にそれ等問題有して居たものであるが組合加入に依つて問題は有利に解決して嚴然と支部は確立した。只大平支部のみは工場閉鎖の爲め組合員の分散は止むを得なかつた。以上の如

創 立 支 部

支 部 名	年 創 立	關 係 會 社	所 在
太平支部	五年九月	太平メッキ會社	本所太平町

支 部 名	年 創 立	關 係 會 社	所 在
上板橋支部	五年九月	鈴木仲銅所	府上上板橋

- 五、上板橋鈴木仲銘所解雇問題勝利解決報告
 - 六、大崎第六支部解雇問題解決報告
- 組織部報告
- 一、向島第一支部設立 七月卅日
 - 二、千住分會設立 七月卅日
 - 三、巢鴨第二支部設立 八月廿三日
- 青年部報告
- 一、林主順君八月廿三日無事小菅刑務所を出所す

協 議 事 項

- 一、組合年度大會の件
- イ、日時九月廿日午前九時
- ロ、會場本部大講堂にて
- ハ、代議員割宛は執行委員會に一任
- ニ、議案提出期は既報の通り九月五日限り
- ホ、各種委員の割宛は執行委員會に一任
- 二、永田メリヤス機械争議應援對策
- 三、川口山崎鐵工場争議應援對策
- 四、日本労働俱樂部に對する態度
- 五、總同盟二十週年記念及會館落成式を盛大ならしむること

以上可決

く新設されたる支部の外大崎第一、澁谷第三、向島第一向島第三、砂町第二等は、全従業員の組織化に努力したる結果非常な擴張を見た。斯くて本年度に於ける組織人員は九百六十名に及び前年度の二百八十六名に比して三倍半の高率を示して居る。一方休解體の止むなきに至つたものは左表の通りにして七ヶ支部二分會其他失業の危にあつて止むなく失格したる者を合して六百四十名昨年度の百八十六名に比して約三倍半にあたる。之を見ても如何に財界不況が我等組合員に異状なる影響を與へたるかを判知し得るであらう。

増減差引三百二十名の増加にして現在數男三八九四名、女一三五名、計附〇〇七九名である。

名。〇。シ。九。九